

授業科目 高齢身体機能回復論実習

【担当教員名】	藤田 和樹		対象学年	3(理・作・言・社)4(健)	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
			開講時期	後期	必修・選択	選択
			単位数	1	時間数	30
【概要】						
近年、注目を浴びている転倒骨折予防を中心とした介護予防運動の方法を理解し、実践できることを目指す。						
【学習目標】						
1. 転倒に関連する運動機能の評価ができる。 2. 高齢者向けのストレッチが実践できる。 3. 高齢者向けの筋力トレーニングが実践できる。 4. 高齢者向けのバランス・トレーニングが実践できる。						
回数	授業計画又は学習の主題				SBO	
					番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	高齢者向けのストレッチングについて					実習
2	高齢者の運動機能評価について					実習・レポート
3	高齢者向けの筋力トレーニングについて					実習
4	高齢者向けのバランストレーニングについて					実習
5	転倒骨折予防のための運動プログラムの作成					グループ・ワーク
6	高齢者の転倒予防教室見学					見学実習・レポート
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>	
教科書		特になし				
参考書		介護予防研修テキスト 高齢者の転倒	厚生労働省老健局計画課監修 レイン・ティディクサー	社会保険研究所 メディカ出版	2001年刊行、3200円 2001年刊行、3000円	
その他の資料		必要の都度配布する				
【評価方法】			【履修上の留意点】			
①レポート提出 ②実習への参加状況			高齢身体機能回復論と合わせて履修することを望む。			